

1-4 職場や就職活動におけるハラスメントの防止

1. 職場におけるハラスメント経験

付表1-4-1-1 職場におけるハラスメント問題(都)

(単位：件、%)

選択肢	件数	割合
問題になったことがある	243	39.8
問題になったことはないが実態としてはある	89	14.6
問題になったことも実態としてもない	269	44.1
無回答	9	1.5
全体	610	100.0

付表1-4-1-2 職場のハラスメント防止対策に取り組む上での課題(都)

(単位：件、%)

選択肢	件数	割合
経営者の理解が進まないこと	43	7.0
管理職の理解が進まないこと	62	10.2
風土の醸成	140	23.0
どこまでがハラスメントに該当するか、線引きが難しい	396	64.9
顧客や取引相手が加害者となる場合の対応が難しい	155	25.4
取組のための費用負担	41	6.7
代替要員の確保等、人員配置に苦慮すること	206	33.8
取組のためのノウハウ不足	131	21.5
日常の業務が忙しいため、十分に対応する余裕がない	149	24.4
その他	22	3.6
無回答	17	2.8
全体	610	100.0

資料：東京都産業労働局「令和6年度東京都男女雇用平等参画状況調査」

2. 職場における「ハラスメント」の相談件数

付表1-4-2-1 職場における「マタニティハラスメント」の相談件数(都)

(単位：件、%)

	相談件数	男性	女性	女性相談の割合
平成28(2016)年度	382	98	284	74.3
平成29(2017)年度	407	89	318	78.1
平成30(2018)年度	373	86	287	76.9
令和元(2019)年度	373	121	252	67.6
令和2(2020)年度	670	106	564	84.2
令和3(2021)年度	231	55	176	76.2
令和4(2022)年度	212	50	162	76.4
令和5(2023)年度	847	222	624	73.7

注：相談件数の合計と男女計は一致しないことがある

資料：東京都産業労働局「令和5年度労働相談及びあっせんの概要」

付表1-4-2-2 職場における「マタニティハラスメント」の相談内容(都)

(単位：件、%)

	相談件数	不利益な取り扱いによるマタニティハラスメント	言動によるマタニティハラスメントの相談	マタニティハラスメントに関する人事管理上の相談	その他・不明
平成28(2016)年度	382	169	29	26	166
平成29(2017)年度	407	123	70	49	220
平成30(2018)年度	373	112	6	54	242
令和元(2019)年度	373	131	13	18	225
令和2(2020)年度	670	97	11	21	547
令和3(2021)年度	231	55	7	31	140
令和4(2022)年度	212	61	6	16	130
令和5(2023)年度	847	66	76	9	699

資料：東京都産業労働局「令和5年度労働相談及びあっせんの概要」

3. 受けた就活等セクハラの内容

付表1－4－3 受けた就活等セクハラの内容(全国)

(単位:人、%)

		該当者数	性的な冗談やかからかい	性的指向・性自認に関する冗談やかからかい	食事やデートへの執拗な誘い	性的な事実関係に関する質問	性的な内容の情報の流布	不必要な身体への接触	性的な言動に対して拒否・抵抗したことによる不利益な取り扱い	性的な関係の強要	その他
全体		228	38.2	20.6	35.1	22.8	22.4	27.2	18.4	19.7	0.9
性別	男性	129	36.4	20.9	33.3	27.1	25.6	29.5	17.1	20.9	1.6
	女性	99	40.4	20.2	37.4	17.2	18.2	24.2	20.2	18.2	0.0

資料:厚生労働省「令和5年度 職場のハラスメントに関する実態調査報告書」